



会報・第7号

北陽高等学校  
同窓新聞  
1986. 6. 21. 発行  
編集発行  
会報委員会  
委員長  
藤井 文太郎

## 60周年記念式典盛大に開かる



(受付風景)



(式典風景)



(同窓会長挨拶)



(歓談風景)



(祝賀鏡割り)



(祝賀パーティ風景)

## 母校の近況

今年もいつの間にか風薫る5月になりました。校友の皆様にはご健勝でご活躍のことと存じます。

昨年は創立60周年に当たり、いろいろとご協力を賜わり有難うございました。お蔵で、式典の挙行、60年史誌の発刊等も無事に終り、育英制度のための募金も総じて感謝いたしております。

今春は、582名が卒業（大学進学128名、専門学校90名、就職224名、浪人等140名）、代わりに3,041名の受験者の中から589名が入学してまいりました。新入生は今までの過保護から脱して自主、自立の生活を確立する手はじめに、毎年2泊3日の合宿研修を行なっていますが、今年も入学後すぐ三重県の合宿の郷で師弟同行の生活をいたしました。これは甘えの少年から自律的な青年への通過儀礼的役割を果たすものと考えております。

現在生徒急増期のため本校も出来る限り多数

の生徒収容を要請されており、1,781名の多数を擁していますが、この状況は後数年続くことになるでしょう。

クラブ活動も相変わらず活発です。テレビ等でご存知のように、サッカー部が正月の選手権大会で帝京高に惜敗しましたが、雪辱を期して猛練習に励んでいます。先ず、夏のインターハイ出場は間違いないでしょう。硬式野球部も暫く遠ざかっている甲子園出場をめざして頑張っています。現在春季近畿大会の府予選に優勝し、大阪代表が決まっています。その他水泳部では全国レベルの選手が出てきましたし、他の部も府代表まで後一步のところまで来ていますが、この壁は案外厚いようで、更に一層の精進が期待されるところです。

林 敏夫

(筆者は母校林敏夫校長)

## 隨筆

## 私の青春観

ついこのあいだまで家庭内暴力、いじめが問題になっていたと思ったら昨今は、自殺が毎日のように報道されています。実はテレビ朝日の2時間ドラマの収録前日の昼に主演のアイドルタレントが自殺してしまったのです。

テレビに移って29年になるんですがこんなことは初めての経験でした。昔生放送時代に放送当日の午後になって主役の鶴田浩二氏が急性盲腸で急遽番組を音楽番組に切りかえて放送したことはありましたが、約10日遅れて代役をたて収録をはじめ今日録画を終えたところです。あれから1ヶ月の間に約50人の若者が死を選んでいます。何故そんなに死に急ぐのかわかりません。ついこの間も彼女の飛び降りた同じビルの屋上より、下からやめろと人々の忠告を無視してポケットにプロマイドを持って自殺した浪人学生もいます。彼女にしても自殺まですることはなかったと思うんです。たとえそのときは苦しくとも月日がたてば心の傷は癒えます。躁と鬱の激しい娘だったそうですが、死の1週間前の衣裳合せのときに彼女と共に親しいスタイルが発売直前のレコードをかけてやってその場の雰囲気を盛りあげていたときの乗りに乗った18歳の無邪気な仕草をみて若いっていいなと思ったのでした。ここで一言若い方に云いたいことは、自分の仕事に責任をもとと、同じ俳優でもベテランの老優氏は自分の撮影が終りリ

テイクのないことを関係者に確認の電話をいれたら死を選んだことがある。電話をうけた人はやりきれなかったと思います。私達の若い頃は自由の意志とは関係なく国家のためと戦場にかりだされ亡くなっているんです。

大変な違いです。もっと命を大切にしてください。同窓の若い人たちには、そのような心配はいらないと信じていますが、自分の思う通りにいかない場合簡単に挫折するんですね。

耐えることを知らないんです。耐えることをしないんです。幼いときからの家庭の膜も大切だと思います。あまりにも恵まれすぎた現在、人は自分のことのみ考えすぎではないでしょうか。勉強勉強と塾がよい、人間本来の人の生き方を教えることなく偏った人間をつくっているような気がします。親の責任です。その点北陽の建学の精神に知・徳・体、とありバランスのとれた教育をされてきたので安心していますが、常識をわきまえ行動出来る人、他人の心の傷みがわかる人、思いやりのある人に育つてほしいと思います。

昨年11月22日の60周年記念祝賀式典に都合がつかず参列出来ず残念でした。当日出席された養老美雄氏よりいろいろお話を聞きました。たいへんに盛会だったので嬉しく思いました。

宇野博之(東宝テレビ部プロデューサー)

同

窓

情

報

## 北陽同窓会主催 第2回ゴルフコンペ盛大に開かる

好天に恵まれた3月21日滋賀オレンジカンツリーで稲野会長を初め16名で行われました、皆んな先輩後輩のへだたりなくわきあいあいの中

でおこなわれました。

次回もさらに盛大に行なわれますよう同窓諸兄の参加をお待ちしております。(寺田賢作記)

## さつき会(昭14年卒)便り

去る2月22日(土)・23日(日)、わがさつき会(昭和14年卒)を有馬温泉「月光園」別館に於て開催した。

事前に幹事より各人宛に再度の出席を要請した結果、病院通いだの、高血圧症だの、通風がまだ全治していないのでだの、吾々もさすがにこんな年になったのかと、更めて寄る年波を感じさせる返事が多く、結局出席したのが、佐藤、山下、小瀬戸、井筒、伊闇、田口、上田、松浦日上の9名だった。午後4時頃、有馬入り。久方振りであの鉱泉独特の臭のする茶色の温泉に浸りながら、お互にフッキンの裸のつき合いで一風呂浴びた後宴會に入る。神戸から呼んでもくれた若いコンパニオンのサービスに年寄りも鼻の下を長くしながら、学生の頃の思い出、学

校の向いの市場の焼き芋屋のネエちゃんの事、先生のアダナの由来等々深夜まで飲み且つ喰い且つ飲み、大いに若返えりの一日であった。

一夜明けた明くる朝は生憎の小雪だったが、山を離れる頃から天気も回復、日頃の精進の良さを思わせるさつき会でもあった。(文、日上)



## 淡路島を訪ねて

### 茨木市役所北陽会

会長 仲川 義一 (昭34年卒)

出発の日は、それまでの寒さの続いた日の中でも比較的おだやかな天候にめぐまれて、我々茨木市役所北陽会は、2年に1度の親睦旅行を2月15~16日に行いました。

大型レンタバス(運転小川清二30年卒)にのりこみ明石よりフェリーで淡路島へと渡りました。

この季節、淡路島には海岸沿いの斜面に可憐な花をつける水仙で有名な「黒岩水仙峠」があり、これを観賞し、また、渦潮の上にかかる美しい「大鳴門橋」を渡り、四国の土を踏むと言うのが今回の観光の目的でした。

我々は茨木市役所と言っても、年令も職種も違う訳ですが、やはり母校と同じくする者同士と言うことで、夜、宴がすすむにつれ、酒をく

みかわし、語り合い、そして唄い大変なごやかにすごすことが出来ました。

なお、宴席の最後にO B(田中道博20年卒)のリードにより、全員「校歌」を高らかに合唱し、それぞれ会員の胸のうちにすぎし日のなつかしい学生時代がよみがえったのではないかと感じました。

会長 仲川 義一 34年卒

副会長 段野 清良 37年卒

文責 宮本 徹 41年卒



## 杉陽会は楽し!

代表幹事 中島 明信

昨年11月24日(日)、吹田市内の「幾久」で杉陽会の親睦会を開いた。

この杉陽会というのは、昭和27年春の北陽中学校卒業生を中心に、昭和30年春の北陽高校卒業生の有志若干名とでつくられた会である。ご多分にもれず、この会も会員相互の親睦を図るのが目的であるが、いまでは慶弔規定を持つほど会にまで「成長」した。

杉陽会の名付親は、中学時代に歴史を教えてくださった大森長兵衛先生だった。杉浦先生の「杉」と北陽の「陽」を取り入れて、杉陽会と名のることになった。

この日の会合が、何回目の会合になるのか記録をとっていないので正確なことはわからないが、もう20回目ぐらいにはなるのではないかろうか。午後1時30分、阪急相川駅に集合したのは、林校長、杉浦先生をはじめ会員15名。いつもより少ない人数だったが、全く久しぶりの懐かしい顔を見せてくれたものもいて、かえって座は弾んだ。

「やあ、お前も元気やったか」

「頭の毛も薄くなつたなあ」

「やっぱり目、歯と来たか」

三十数年前の童顔とはほど遠く、一人ひとり自分たちでつくりあげた顔には年輪の重さを感じさせる。それでも、在学中、運動場で犬コロのように転げまわって遊んでいた当時の面影を残しているのが面白い。食べるほどに酔うほどに、懐い思い出が次から次に湧き出て来て、

## 数年ぶりの東京支部同窓会

母校創立60周年を祝う東京支部（高橋省五郎支部長）の60年度総会は、11月9日午後5時半から新宿区神楽坂の割烹「鳥茶屋」で開かれた。母校から林校長、本部から藤井同窓会副会長を迎えて、初参加の会員を含め、出席者は17人。

高橋支部長が病氣のため、総会はここ数年延び延びとなっていたが、今回は小宮茂（昭和10年）、養老美雄（同15年）の両氏が代表世話人となった。

総会は小宮世話人のあいさつに次いで、林校長から創立60周年の節目を迎えた母校の近況を説明、育英制度の新設と体育館建設への募金協力の要請があり、藤井副会長は、「本部と支部のパイプを一層太くしたい。組織の活性化は名簿づくりから、ハガキで結構ですから会員諸氏の

時の過ぎるのも忘れる、というのもいつものことだ。

この間、林校長も杉浦先生も終始なごやかに会員たちと談笑されていたことは言うまでもないが、杉浦先生の例のあの歌が出る頃には会も最高潮に達する。

いつの間にか時計は7時をまわっている。長い会だが、これもいつものことだ。お二人の先生のご健在と、会員の益々の活躍と又の会う日を楽しみに、全員で校歌を齊唱して、今回の杉陽会の宴をお開きにした。

追記、急に思ひ立って、池田は五月山で花見の宴をもった。4月13日(日)。

大変な人出のなか、杉陽会のカラオケは、他のグループを圧倒した。昼の酒はまわりがはやい。半分は花の下での午睡を楽しんだ。



消息、異動をどしどし本部へ知らせてほしい」と要請があった。

続いて第1回卒業生の宗高松太郎氏（昭和3年＝78歳）の音頭で乾杯、出席者全員の自己紹介から懇親会に移ったが、母校北陽の絆で結ばれた先輩・後輩のこと、ビール、酒と「うどんすき」に舌づみを打つほどに、忽ち旧交を暖



め、仕事の話に花が咲いた。最後は林校長のリードで校歌を合唱、記念撮影後9時前散会した。

なお総会で次期幹事に、十時良雄（高、昭和37年）、富樫和彦（同、45年）の両氏が決まった。11月22日、大阪都島区の太閤園での母校創立60周年記念式典には十時良雄、養老美雄の両氏が出席。

## 第16回生同窓会 (昭和18年卒商業第1本科)

昭和60年8月3日～4日（1泊2日）みのお山荘において私達の同窓会（9回目）を開催しました。

来賓として八沢4代校長先生、稻野同窓会々長お二人をお迎えし、懐しさや思い出も一入、昔話に花を咲かせ話題のつきぬ楽しい一夜を過ごしました。

今後共、毎年1回は私達の同窓会を開こうと堅い約束をし散会しました。

（当日出席者：上田（作）、小川、小野、奥田、加藤、岸田、寺田、佐藤、瀬川、辻谷、中野、中村（忠）、畠（一）、平野、普川、藤岡、真壁、

当夜の出席会員は次のとおり（卒業順、敬称略）。

宗高松太郎、是恒達見、小宮茂、西川雅敏、坂本実、増田直幸、養老美雄、菊野良平、向所登貴郎、比嘉武、十時良雄、高橋匡房、岡部守隆、実重優、富樫和彦の15氏。

（養老 美雄 記）

松原、山崎（アイウエオ順）

（世話人：真壁和義 Tel. 321-0025）



## 第六号会報協力者

前号の会報協力者のお名前は下記の通りです。（敬称略、昭和61年5月15日現在）

井上二二（5・6号）、由本寛二、高橋巖、富室幹之助、岩永清治、松村豊、窪山独、西田秀吉、中田永一、小原孝作、柳瀬正三郎、西垣友夫、段林作太郎、田林軍治、千田忠雄、中田寅次郎、塙谷半一、三上山孝一、江口謙吾、左海茂、北二郎、畔内真吉、葛田武次、松尾清、岡柳三、藤井常夫、米倉修一、芝芳三、金田一夫、岡田耕一、豊田伊佐吉、西村貞彦、上田仁一、矢野勝一、稻野治兵衛、今村稔、福島頼夫、田中平一、齊藤二郎、鶴尾與造、吉田周次、新井敏男、松本伊二男、西尾次郎、内藤照且、藤川孝夫、藤川重義、福島嘉雄、牧野雅男、田中栄次郎、山本祐男、川本喜三、松尾一毅、東山俊民、西村日吉廣、中野晃平、伊賀嘉則、養老美雄、中西条太郎、清野徹、坂本実、姥浦作次、藤井文太郎、太田宏、犬飼兵一、岡田真三、柴田希夫、足立英二、高木種夫、岸田喜興志、津田眞治、山本敏雄、峰順一郎、奥田一二夫、佐野良晴、山中茂、宮崎武雄、坂本隆大、中島喜三郎、百崎和男、藤本栄次、後藤久、浜本辰巳、庄田耕宏、岩崎悦治、菊野良平、田畠源一、新井博、土田吉一、小寺恒雄、辻谷豊、岸田誠一、足立俊昌、平野正勝、鈴宮義照、伊藤学、龟田真守

根本貞彦、津田義雄、上浦弘、加茂勉、鶴川惟治、三宅利喜男、向所登貴郎、岡本修、高木誠一、中川茂夫、岩畑毅、石田修、寺西克美、一色義二、川口重夫、皆川良起、杉本庄七、塙山信夫、小林信次郎、高井敏行、西半誠一、栗栖治、徳本幸治、蒲田良幸、笠井市雄、満田正道、今西哲司、三野英男、高谷貞男、小林進、植田正雄、久保田芳郎、吉田健、塙田修三、秦健、小西勝美、西川昭大、福本隆一、藤村峰夫、坂本武治、井沢秀三、小谷輝夫、大矢昇、本田彰城、島未明、瀬川三郎、齊腰光夫、北之防明、林時也、越川昇、後政雄、杉谷允彦、山崎勝己、濱田康雄、牛田富男、水岡良治、寺田賢作、多木善和、中野豊治、北川徹、橋本幸弘、東朗、浅野正三郎、岩木栄一、山下雅二、福島亮、中川要裕、岸間忠彦、新井貞、中道登、出白幸男、鈴木俊孝、山路高義、成尾浩、丸橋太、久我哲夫、小石康弘、西田直人、山口茂、半田直也、河田素拓、日和達之、町出俊昭、西島隆一、竹義和、横田満、杉本哲也、谷幸治、間野良成、篠木方、杉本治人、仁科寿夫（教職員関係）

### “故安富先生を偲んで”

恩師 故安富政雄先生は去る昭和61年御逝去されました。心よりお悔み申しあげます。

安富先生は昭和14年4月国学院大学を御卒業後、国語科の教諭として御就任なされ2年生を担任。傍、昭和14年10月14日、淀川滑空場に於て北陽第1号のグライダーを作成されとばされました。時の顧問の先生でもありました。ありし日のお姿が目にうかびます。当時の部員には村田勇、麻島隆、蒲地一義、浜本辰巳の諸氏等教育界等で、ご活躍の面々がおられます。

さらに昭和28年に発足したバレーボール部を日体大出身の本郷先生と共に率いられ第15回近畿大会(昭和37年)に初出場以後近畿大会出場も

何度か、昭和38年には公式戦で準優勝に導かれました。

又昭和44年の秋には学年主任として初めて東北に修学旅行を試みられました。同窓会にもお心をお寄せ下さり昭和57年には第5回代議員会に八沢、原田尚先生とともに御出席いただきました。母校を一度去られて、昭和14年4月、母校に再び御就任され、2月23日享年71歳で天寿されました。その間昭和35年、昭和38年、昭和41年と三度卒業生を社会に送り出され、特に、「北富会」は今も先生の徳を偲んで、同窓会活動をしておられます。

先生の御靈に平安あれ!!

合掌

(元グライダー部員 同窓会理事

浜本辰巳)

## 職 場 訪 問

### 私達の職場

(財団法人、電気通信共済会)

電気通信利用者及び電気通信事業関係者の便益を図り、併せて日本電信電話株式会社の業務災害による退職者、永年勤続した退職者及びこれらの者の遺族並びに在職中死亡した職員の遺族に対し、その生活を援助すると共に会社役職員の福利厚生を増進し、もって電気通信事業の健全なる発展に寄与することを目的として設立しました。大規模な企業体です。現在、母校卒業生は、古布淳以下今年入社した田畠建朗まで26名になり、皆んな元気で各職場で活躍しています。

母校の野球部が甲子園に出場した時は全員で募金をし応援しています。また、同窓会名簿が発行された折には広告に参加しています。

### 事務局よりお願い!

「職場訪問」はこれからも毎回掲載致します。  
皆様の職場を御紹介下さい。御一報下されば直ちに取材に参ります。  
(同窓会事務局 TEL06-328-5964)

今度の育英資金の母校同窓会本部からの呼びかけにも皆んなでお金を集め参加しました。これからも母校の同窓会本部と連絡をとりあいながら協力していこうと思っています。

最後に北陽高等学校並びに母校同窓会の発展を折ってやみません。

卒業生名簿は次の通りです。

古布 淳(36年) 渥美正博(37年) 西形 修(38年)  
田中 博(40年) 福本清春(40年) 本田正典(40年)  
森本正文(40年) 川上 実(41年) 五味一夫(43年)  
小野廣海(44年) 津吉 昭(44年) 石田正明(44年)  
山本雄造(45年) 大浜正己(46年) 西村 勝(46年)  
児玉正央(47年) 織田和男(47年) 近藤勝己(48年)  
下田 修(49年) 森 久也(50年) 太田 進(51年)  
森内俊行(51年) 谷本好美(52年) 島川隆行(56年)  
田畠建朗(61年) 計26名

(小野 廣海 記)

# 創立60周年記念事業資金の ご賛助について

母校は大正14年に北陽商業学校として創立されて以来本年で創立60周年を迎えるにいたりです。

今や科学技術の高度化、国際化の時代に即応する教育が強く求められ、私学の独自性、創造性が問われています。

そのために教育諸条件の整備もまた不可欠で下記の計画事業のうち、特に同窓会として各位の絶大な御賛同を得たいのは育英資金の協力ということになります。何卒今後何かとお願い申し上げることになりますがよろしく御支援下さい。

## 創立60周年記念事業概要

1. 育英資金制度の創設基金目標 2億円
2. 新体育館（プール内蔵）の建設設計画の実施

(構造規模)

鉄筋コンクリート造 2階建(延約3,200m<sup>2</sup>)

グラント敷地内

1階 プール 2階 体育館講堂

(建設費) 約5億円

## 募金について

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| ○ 同窓会目標額         | 3,000万円         |
| ○ 1口             | 5千円             |
| 何口でもお願いします       |                 |
| (寄付金の免税措置がございます) |                 |
| ○ 振込の方法          | 同封の振込用紙をご利用下さい。 |
| ○ 募金の期限          | 第2次〆切 昭和61年末。   |

## 育英資金協力者氏名

(昭和61年5月15日現在)

現在までに心温まる御協力を下さった教職員関係及び会員諸氏は次の通りであります。(敬称略)

50万円 稲野治兵衛、大里勝司

20万円 福島嘉雄、土井正男、北二郎、

10万円 加茂勉、岩木榮一

6万円 牧野雅男

5万円 阪本隆夫、西田秀吉、瀬川三郎、浜本辰巳、山崎勝巳、川口重夫、寺田賢作、丸橋太郎、出俊昭、松尾一穀、高山強、宇内畠善、宗高松太郎、吉田健、仁科寿夫

3万円 神山興三、小寺恒雄、塙谷半一、西村日吉麿、三宅利喜男、松城友一、豊田春海、有福健

2万5千円 西口由太郎、藤田忠男

2万円 中野豊治、皆川良起、松村豊、中井勲、千原勇、梶原清、富室幹之助、岩永清治、菊野良平、岡田博、鶴川権治、越川昇、米倉修一、多水善和、田林軍治、岡田勉、井内嘉美、土田吉一、上浦弘、福田要之助、休井輝男

1万5千円 松本伊三男、岩崎悦治、石田修、小林信次郎、犬飼兵一

1万円 栗栖治、井上三二、萱野安太郎、上田重雄、西垣友夫、中田寅次郎、天津米一、畔内貞吉、葛田武次、鈴田耕一、奥山寅吉、東角健次、金田一夫、西村貞彦、岩佐重憲、豊田伊佐

吉、鷲尾與造、藤川重義、内藤照且、田川栄次郎、太田宏、中西条太郎、養老英雄、姥浦作次、坂本実、津田真治、高木種夫、足立英二、柴田希夫、奥田二三夫、藤木栄次、菅崎和男、宮崎武雄、庄田精宏、足立俊昌、北秋一、辻谷豊、植口仁三郎、上田昭三、岡本修、高木誠一、中川茂夫、寺西克美、一色義三、蒲田良幸、堀佳夫、秦健、北之助明、林時也、杉谷丸彦、篠政雄、橋本幸弘、柴田久雄、岸間忠秀、池上清、小石康弘、宮島伸郎、野中隆宏、篠木力、藤岡和夫、吉田周次、蒲地一嘉、笠井市雄、高橋巖、小出義恵、今村稔、高谷貞男、満田正道、萩原一郎、福武喜與次、坂本嘉孝、田畠源一、戸内頼一、鷲見季義、川本富三、山本祇男、塙山信夫、佐野良晴、筒井明、中尾晴郎、平野正勝、唐金利平、濱田康雄、大矢登、渡辺一郎、由上喜作、福本隆一、矢野勝三、吉岡稔郎、藤川孝夫、福島頼夫、田村道雄、山本敏雄、山中茂、河田素拓、今西哲司、岩畠毅、向所登貴郎、釣谷義照、杉本哲也、小原孝作、杉本治人、久保田芳邦、平田忠雄、岸田喜與志、徳本幸治、鈴木俊幸、十宮茂、水利修三、佐藤誠一、森田昭治、角野義明、深尾泰司、小沢輝美、山崎勝也、辻勝

5千円 後藤久、山本寛二、段林作太郎、三ヶ山孝一、宇野稔、岡柳三、藤井常夫、田中平治

齊藤二郎、坂本巣、西尾次郎、木村不二雄、横  
木貴彦、藤村峰夫、城島未明、水岡良治、中平  
雅二、福島亮、中川要裕、山路高義、久我哲大  
山口茂、橋田謙、谷幸治、相生耕太郎、今津秀

晃、左海茂、猪古庵武夫、東嶺、白山利雄、北  
川徹、新井博、出口半男、今道康司、日和達之  
植田正雄、浅田明廣、  
2千円 補田好、清原忠和、柳尾修一、損義和

## 母校クラブだより

### 地道な活動を続ける吹奏楽部

吹奏楽部は、その後も地道な活動を続けています。6月25日には、豊中市民会館で第5回の定期演奏会を行ない、クラシックからポピュラーまで10数曲を演奏し成功させました。

また本校の学園祭では、高槻市民会館のステージで記念演奏を行ない、また体育祭ではグランドでドリル演奏も披露しました。

一方で、運動部への応援団の役割も演じ、1月の全国高校サッカー選手権大会の応援にも東京まで遠征し参加したりしています。

本年の活動としても、きたる6月19日には吹

田市文化会館での演奏会をはじめとして、7月末の大坂府吹奏楽コンクールへの参加など多彩な活動を計画しています。

(吹奏楽部顧問 手嶋正雄)



## 水泳部近況報告

### —春季全国大会出場—

今年も春季全国ジュニア五輪大会及び日本室内選手権に個人、リレーを含め4名が出場した。中でも昨年国体で5位に入った伊藤君(2年)は、ジュニア五輪で4位、日本室内では自己最高を出しオールジャパンランキング18位と好成績を残しシーズンのスタートを切った。この記録(100M自由形54秒3)により、6月7~8日国際大会選考会に出場することになった。又、他の選手達も夏の全国へ向けて順調な伸びを示している。今季も個人、リレー共にさらに記録を、更新し日本高校や全国ジュニアで決勝へ進出できるよう頑張らせたい。

年々、大きな大会で活躍する選手が多くなって来ているものの、肝心な練習プールの老朽化が著しい。愛する北陽のためにと、生徒、指導者共に必死の努力にもかかわらず学校当局の

理解はまったく皆無である。このまま放置されれば、北陽の水泳と教育の場が失われてしまう恐れすら感ぜずにはいられない。北陽の教育の中に、毎日夜遅くまで練習に汗を流しついたるに努力している生徒達の姿があることを忘れてはならない。

北陽での水泳、それは若き生徒達の人生に確かな生き方と人間の心を教えてくれる。私は、そんな教育の場をこの北陽で大切にしたいのであるが……

昭和61年5月11日

水泳部監督 石坂 喜一





# 昭和60年度第64回 全国高校サッカー選手権大会 来年こそ頑張れサッカー部 またも「幻のゴール」に敗る！

今大会注目の好カード帝京一北陽戦は北陽はMF木村を軸に幅広いオープン攻撃を展開、両DF陣の防戦で、互いに相手ゴールを割れないままタイムアップ。

唯一の得点は北陽の前半40分、左CKから樋口が頭で決めたが、時間切れでノーゴール。両者譲らずPK戦ともつれこみ4PK2で北陽は2年連続で惜敗した。

次の65回大会の活躍を期待いたします。

**大阪府代表 北陽高 (2年連続6回目)**



●1月3日(土) 12時15分 西が丘観察9,200人  
(主審)沢田

帝京 0 (0—0) 0 北陽  
4PK2

①関口 哲一(3年)	G K	⑯貝瀬 修(3年)
⑯清水 充(3年)		④沢村 豊史(3年)
④越原 淳(3年)	D F	⑤米沢 刚志(2年)
⑤忠鉢 信一(1年)		⑧葉山 猛士(2年)
③士師田和弘(3年)		⑯今村 孝行(2年)
⑧石川 洋之(2年)		⑪木村 一成(3年)
⑥巻田 清一(2年)	M F	⑦高島 勉(2年)
⑦岩本 三郎(2年)		⑥山下 純司(2年)
⑨井出 俊哉(2年)		⑭佐藤 慶明(1年)
⑮北野 誠(3年)	F W	⑯池本 成康(2年)
⑯磯貝 洋光(1年)		⑩樋口 勤(3年)

(交代)(帝)小林芳徳(3年) (64分:岩本三郎)  
(帝)森山泰行(1年) (64分:北野誠)  
(北)松下智宏(3年) (69分:佐藤慶明)

[得点]

**帝京 0-0  
4PK2 北陽**

## 理事会報告

中間決算報告は次の通りです。

### 収入

科目	金額	備考
名簿代	3,798,340	本年度分の内¥32,700
協賛金	1,267,430	
広告料	2,018,800	
受取利息	49,243	△ ¥3,536
借入金	880,000	
助成金	2,000,000	
計	10,013,813	

### 支出

科目	金額	備考
住所変更手数料	5,460,000	61.10.11 未払金76万支払
通信費	668,200	
郵便振替料金	69,050	
名簿配布料金	1,286,640	
名簿改訂費	2,100,000	
雑費	5,080	
銀行預金	434,843	
計	10,013,813	

## 春の高校野球府予選(61年度) 北陽初優勝飾る

### 夏の全国選手権大会大阪大会も 優勝に向って前進を!!

春季近畿地区高校野球府予選の準決勝、決勝が5月18日、日生球場で行われた。

準決勝では選抜に出場した上宮を大差で破り決勝に進出、決勝では4-2で近大付を下し初優勝した。

本校は5月31日からの奈良県大和郡山球場で行われる近畿大会に府代表として出場する。

夏の第68回全国選手権大会が目前にせまっていながら優勝を目指して頑張ります。

春季大会の戦績は次の通りです。

- 1回戦 不戦勝
- 2回戦 北陽10-0 汎愛
- 3回戦 北陽4-2 港
- 4回戦 北陽6-1 渋谷
- 5回戦 北陽2-1 此花
- 準々決勝 北陽10-3 春日丘
- 準決勝 北陽9-1 上宮

### 日曜画家のすすめ (美術クラブのすすめ)

よく、「良い趣味をお持ちですね」とか「絵を描くというような、高尚な趣味があるのはとても良いことですね、うらやましいですよ」など、お世辞とも体心ともつかぬことを言われます。「あなたも書きなさいよ」というと「わたしなんか駄目ですよ、下手くそですから」と謙遜なさる。

しかしそんな人ほど良い絵を画くものです。なるほど、人物を描けば鼻は曲がるし、静物を描けばコップは宙に浮いている、道はねじれている。しかしそんな人の丁寧に書きこまれた絵には、不思議にしみじみとした詩情が溢れています。

そんな絵に出会うと、なまじか中途半端な描写力を身に付けています。自分には及びもつかないと思い羨望と劣等感に取り付かれるのです。誰だって、絵を書き上げる度に、幻滅悲哀を感じているのですがときどき思い通りの絵が描けたり(こんなことは、めったにない)、思いがけない傑作が描けたりすると、すっかりうれしくなって誰彼なしに見せてまわります。子供みたいだと笑われるかもしれませんのが有頂天になることなど、さっぱりなくなった近頃ですから、同じ、画友と苦心談に花咲かせるのも楽しいし、

▷決勝 北陽 0 1 1 0 0 0 1 0 1   4	
近大付 0 1 0 0 0 0 0 1 0   2	
【北陽】打安点	【近大付】打安点
藤川 4 1 0 (右) 野沢 5 1 0 加藤 5 8	中島 5 4 0 石井 4 5
木村 1 0 0 (左) 島津 5 4 0	
上田 5 2 1 □ 坂本 4 3 0	
柳原 4 1 0 (一) 村山 2 0 0 門脇 2 3	
中田 4 1 1 (二) 徳永 4 0 0 坂口 6 4	
矢野 4 2 0 (三) 大谷 4 1 0 宇井 1 2	
佐左木 2 1 1 (遊) 藤井 4 2 0	
後藤 3 1 0 (捕) 長瀬 4 2 2 柳原 1 1 長瀬	
佐政 2 0 1 (投) 門脇 0 0 0 2 島津 坂本	
石井 1 0 0 (打) 天野 1 0 0 遠北 1 近 0	
振球機併残: 1 : 1 投坂口 2 0 0 坂口 田中加藤 天	
2 4 6 1 9 30 9 4 打川本 1 0 0 近 4	
投宇井 0 0 0 振球機併残: 1 : 1	
3 2 1 2 10 36 13 2	



近畿大会出場メンバー  
(硬式野球部顧問 記 奈良)

カンバスにむかって、ここはこう描いてやろう。この色はこういう色が良いなどと構想をねる時はとても楽しいものです。たとえ描き上げた絵がつまらないものでも、頭の中では大芸術家にもおどりません。どんな傑作も想いのまままたま出来た傑作を前に、独りコーヒーを飲みながら悦にいるのもまんざらではありません。たいがいどんな絵でも2、3日は傑作に見えるものです。

素人の絵は、傑作よりも力作でありたく、また何よりも楽しんで画くことが大切なのです。恰好や道具だけ本職のみで絵は…といわないで下さい。絵を描くという知的なムードを楽しむそれで良いではありませんか。

(美術部顧問 前田時季)



35回私学美術展  
'85.8.大阪市立美術館於

## 同窓会会則

### 第1章 総 則

第1条 (名称) 本会は北陽同窓会と称する。  
第2条 (目的) 本会は会員相互の親睦を図り母校の発展に寄与すると共に社会公共に貢献することをもって目的とする。  
第3条 (事業) 本会は前条の目的を達成するため次の事業を行なう。

1. 会報及び会員名簿の発行

2. 総会の開催

3. 母校の発展に寄与する事業

4. その他必要な事項

第4条 (本部及び支部) 本会は本部を北陽高等学校同窓会室におく、支部は必要な地域又は職場に設けることができる。本部に事務局を置き本会の事務を処理する。

### 第2章 会 員

第5条 本会の会員は次の通りとする。

1. 正会員(1)北陽商業学校、北陽工業学校、北陽中学校及び北陽高等学校の卒業生  
(2)上記学校に在学した者で理事会の承認を得た者
2. 特別会員、母校の現職員並びに旧職員
3. 名譽会員、母校もしくは本会に特別の関係ありと認め理事会で承認を得た者

### 第3章 役員及び役員会

第6条 1. 本会に次の役員を置く

- (1)名誉会長 1名 (母校の現校長)
- (2)会長 1名
- (3)副会長 3名以内
- (4)会計 2名
- (5)監事 2名
- (6)事務局長 1名 事務局次長 2名
- (7)理事 若干名
- (8)代議員 若干名
- (9)顧問、相談役 若干名

2. 役員の任期は3年とする。

但し再任を妨げない。

第7条 1. 会長は代議員に於いて選出される。

2. その他の役員は会長これを委嘱する。

第8条 (任務) 1. 会長は会務を総括する。但し緊急必要案件が生じ代議員会を召集するいとまなき時は理事会の議を経て会長これを先決する事ができる。

2. 副会長は会長を補佐しその代理を務める。

3. 会計は会の財務を処理する。

4. 事務局長は本部事務局を組織し、会長の指示を受け、会に關する事務全般を処理する。

5. 理事会は会務を執行し会の運営上別に内規を定める。

6. 代議員会は次の事項を審議する。

(1)事業計画及び予算の承認

(2)事業報告及び決算の承認

7. 理事会及び代議員会の議事は出席者の過半数をもって決し可否同数の場合は議長これを決する。

8. 監事は会計を監査する。

### 第4章 会 計

第9条 本会の経費は会費寄付金、その他の収入をもってこれに充てる。

第10条 本会の会計年度は毎年4月1日より翌年3月31日迄とする。

第11条 (会費) 本会の正会員は会費を分担するものとする。

### 第5章 総 会

第12条 総会は会長これを召集し代議員会をもってこれに代える事ができる。

### 第6章 支 部

第13条 本会は支部を設ける事ができる。支部長は支部を統括し本部にその会則役員名その他重要事項を報告し連絡を密にしなければならない。

### 第7章 会則変更

第14条 会則の変更をしようとする時は、会長は理事会の議を経て総会の承認を得るものとする。

### 第8章 附 則

第15条 その他定めなき事項は会長が理事会にはかり、これを決定する。

第16条 本会則は昭和54年9月22日よりこれを施行する。

## 60年度事業報告

- 60年4月1日 新代議員に委嘱状発送  
6日 第1回会報委員会  
13日 理事会・定例代議員会  
於ガーデン・パレス  
17日 第2回会報委員会  
24日 第3回会報委員会  
5月14日 理事会  
7月26日 会報発送 7,200部  
27日 ム 5,386部  
9月18日 理事会  
11月9日 同窓会 東京支部会 藤井副会長  
参加  
22日 (60周年記念式典 於大閣園)  
12月14日 理事会

## 教職員動静

### ●退職者

河崎清美 61年3月31日退職  
〒558 大阪市住吉区遠里小野3-10  
杉本團地2棟46号  
現在講師勤務中

### ●新任者

吉谷好嗣  
〒561 豊中市庄内幸町3-18-10  
鹿児島大学理学部物理学科卒

### ●訃報

安富政雄(元教職員)S61.2.23没  
麻島 隆(元同窓会理事)S61.3.16没

<p>毎日新聞社 調査審議室特別嘱託 <b>鵜川 権治</b> (S 20年卒) 川西市緑台4-8-25 0727-93-3917</p>	<p>貸倉庫業 モータープール <b>平野 正勝</b> (S 18年卒) <b>平野 耕治</b> (S 49年卒) 豊中市南桜塚2-2-26 電話 (06) 852-5254</p>
<p>ジュテリ&amp;ファー <b>ウイズ</b> <b>浦田 好</b> (S 16年卒) ■さんくす店 / 吹田さんくす2番館2F 吹田市朝日町2番207 電話 (06) 381-0303</p>	<p>クリーニング <b>星光社</b> <b>小崎 章年</b> (S 54年卒) 吹田市穂波町10-14 電話 (06) 387-1237</p>
<p>茨木市立東雲地区公民館長 <b>田中道博</b> (S 20年卒) 茨木市東太田1-3-615</p>	<p>近畿大学理工学部 教授 工学博士 <b>蒲地一嘉</b> (S 17年卒) 吹田市寿町2-14-7</p>
<p>昭和18年12月卒業 北陽商業学校第一本科 第16回卒業生同窓会有志 世話人 <b>真壁和義</b> (一夫) 電話 (06) 321-0025</p>	<p>大阪東部佃煮株 取締役 <b>植木一弘</b> (旧姓三宅) (S 50年卒) 大阪市東住吉区今林1-2-68 (大阪市中央卸売市場東部市場内) 電話 (06) 757-8474番</p>
<p>段林法律事務所 弁護士 <b>段林作太郎</b> (S 5年卒) 大阪市北区西天満3丁目11番8号 (大阪高等裁判所東門 北隣) 電話 (06) 364-0269・3014番</p>	<p>皆川良起 (S 25年卒) 高槻市西町38-22</p>

<p>北陽同窓会会长 稻野治兵衛 (S 10年卒) 電話 (06) 872-3131</p>	<p>(株)光商 代表取締役 松尾一毅 (S 13年卒) 神戸市中央区加納町6-6-2 電話 (078) 331-6001代</p>
<p>(有)かねしん食品 代表取締役 野網信市 (S 13年卒) 大阪市東淀川区淡路4-7-7 電話 (06) 322-2733</p>	<p>(株)富士商店 代表取締役 川本富三 (S 13年卒) 茨木市上泉町9-37 電話 (0726) 24-1621代</p>
<p>川砂、建築材料一式販売 (株)三野商店 代表取締役 三野英男 (S 30年卒) 吹田市南高浜町35-1 電話 (06) 383-0062</p>	<p>中亀建設(株) 代表取締役 中田登 (S 30年卒) 大阪市東淀川区東中島5-28-17 電話 (06) 322-1419</p>
<p>シンワ印刷所 代表者 坂本嘉孝 (S 34年卒) 大阪市城東区成育5-21-11 電話 (06) 931-6618</p>	<p>ベビーチャイルドショップ 奈良赤ちゃん 代表 渡辺章 (S 13年卒) 奈良市下三条町14 電話 (0742) 22-4288</p>
<p>お申込み・お問合せは 京阪交通社 修学旅行センター 東朗 (S 46年卒) 電話 (06) 228-1691</p>	<p>中尾製袋(株) 代表取締役 中尾晴郎 (S 23年卒) 吹田市内本町3丁目19番32号 電話 (06) 381-5512</p>

<p>伸銅品・アルミ・ステンレス    <b>三谷金属株式会社</b>          取締役社長 岩崎 悅治          (S17年)          本社 大阪市東成区大今里南4丁目1番10号          電話 (06) 972-8801番 代表</p>	<p>売店受託経営 売店総合商品卸  <b>心幸株式会社</b>          代表取締役 高山 強          (S4年卒)          尼崎市西長洲東通2丁目6-2          電話 大阪 (06) 488-5201</p>
<p>(有)犬飼興産          代表取締役  <b>犬飼 兵一</b>          (S15年卒)          吹田市広芝町4-32大和ビルディング          電話 (06) 386-2556</p>	<p>(株)紅六          代表取締役  <b>金田 一夫</b>          (S9年卒)          大阪市天王寺区上本町7-2-26          電話 (06) 771-5742</p>
<p>民間車検工場          三菱自動車販売特約店          各種自動車販売修理  <b>株式会社 塩山自動車商会</b>          (淡路電話局前)          専務取締役 塩山 信夫 (S26年卒)          大阪市東淀川区上新庄2丁目1番7号          電話 (06) 328-2587・4134・5111</p>	<p>旧高槻藩御用菓子司  <b>株田辺屋</b>          社長 伊藤 学 (S18年卒)          高槻市上田辺町5-18          電話 (0726) 85-0256</p>
<p>大阪豊中ジム          日本キックボクシング協会認定          代表  <b>岡田 博</b>          (S33年卒)          豊中市二葉町2-4-11          電話 (06) 334-0342</p>	<p>建築材料一式・屋根工事  <b>(株)豊島商店</b>          代表取締役  <b>豊嶋 高志</b>          (S41年卒)          大阪市東淀川区西淡路5-21-25          電話 (06) 322-6085・0488</p>
<p>豊中カクタス(株)          代表取締役  <b>小寺 恒雄</b>          (S18年卒)          豊中市北桜塚4-17-1          電話 (06) 854-0089代</p>	<p>松城石油(株)          代表取締役  <b>松城 友一</b>          (S20年卒)          茨木市稻葉町19-15          電話 (0726) 34-0155</p>

<p><b>阪急淡路本町商店街 欧風料理</b></p> <p><b>レストラン ふく</b></p> <p>代表 福田 義一 (S41年卒) 福田 敏昭 (S42年卒) 電話 (06) 322-9085</p>	<p><b>松原紙株式会社</b></p> <p>代表取締役 松原 正 (S18年卒)</p> <p>営業所 東大阪市長田中3の168 TEL 06-746-2251 本社 富田林市若松町東3丁目7の45 TEL 0721-25-4415</p>
<p><b>各種自動車部品 タカオカ産業</b></p> <p>代表者 <b>高岡 繁</b> (S42年卒)</p> <p>尼崎市梶ヶ島6番地 電話 (06) 488-0625</p>	<p><b>財電気通信共済会 近畿支部</b></p> <p>卒業生25名</p> <p>代表 古布 淳 (S36年卒)</p> <p>電話 代 (06) 944-7008</p>
<p><b>岡本修</b> (S21年卒)</p>	<p><b>茨木市役所 産業市民部長</b></p> <p><b>堀顕</b> (S24年卒)</p>
<p><b>兵庫県会議員</b></p> <p><b>加茂勉</b> (S20年卒)</p> <p>〒666 川西市中央町11-15 電話 (0727) 59-8890</p>	<p><b>協和建物総合管理株</b></p> <p>代表取締役社長 内藤照旦 (S13年卒)</p> <p>大阪市此花区西九条3-15-24 中島ビル3F 電話 (06) 468-0970</p>
<p><b>吹田市会議員</b></p> <p><b>杉本庄七</b> (S25年卒)</p> <p>吹田市垂水町1-57-37 電話 (06) 384-8016</p>	<p><b>吹田市会議員</b></p> <p><b>阪本隆夫</b> (S15年卒)</p> <p>吹田市南高浜町14-8 電話 (06) 381-0276</p>

<p><b>東邦グラビア印刷工業株</b> 代表取締役 <b>山 下 秀 夫</b> (S14年卒) 豊中市今在家町8—6 電話 (06) 863-4100</p>	<p><b>ヤンマーディゼル株式会社</b> 取締役東京支社長 <b>栗 田 文 吉</b> (S23年卒) 東京都中央区八重洲2丁目1の1 電話 (03) 275-1111</p>
<p><b>中井税理士事務所</b> 税理士 <b>中 井 純 次</b> (S41年卒) 大阪市旭区森小路1—6—9 大同生命ビル3F 電話 (06) 954-8488㈹</p>	<p>茨木市役所 卒業生一同 会長 <b>仲 川 義 一</b> (S34年卒) 電話 (0726) 22-8121</p>
 <b>白鶴</b> 白鶴酒造株式会社 常務取締役 <b>山 中 茂</b> (S17年卒) 本社 神戸市東灘区住吉南4—5—5 電話 (078) 841-4101	<p><b>帝塚山大学</b> 経済学部設置準備委員 <b>高 木 種 夫</b> (S16年卒) 高槻市南平台1—25—15 電話 (0726) 94-3089</p>
<p><b>兵庫教育大学</b> 教授 教育学博士 <b>上 田 吉 一</b> (S18年卒) 茨木市東福井2の4の1</p>	<p><b>関西大学経済学部</b> 教授 経済学博士 <b>上 田 昭 三</b> (S20年卒) 吹田市藤白台4—5—12</p>
<p><b>ケンコー薬局</b> 代表者 <b>山 本 義 夫</b> (S30年卒) 高槻市松ヶ丘2—4—27 電話 (0726) 87-5295 (0726) 85-8300(自宅)</p>	<p>(株)寺田美研 代表取締役 <b>寺 田 賢 作</b> (S42年卒) 吹田市高浜町4—7 電話 (06) 381-2401㈹</p>